

2024年度第3回(通算13回)北海道レフェリーアカデミー 事業報告

報告者: 高須賀哲平(旭川地区)

【日時】2024年6月22日(土)、23日(日)

【場所】6月22日(土): 東雁来公園サッカー場、SSAP ミーテングルーム

6月23日(日): 小樽市望洋サッカー・ラグビー場、北海道小樽水産高等学校

【参加者】審判員: 高須賀哲平、丑屋幸大、及川凌夢、岩本駿士

インストラクター: 古曾部統太郎氏(RAM)、今川一輔氏(RAI)、岡田渉氏(RAI)

オブザーバー: 岸本拓洋氏(強化指定担当 INS)、田口平蔵氏(強化指定審判員)

【研修テーマ】暑くても走る

【6月22日(土)】

08:20 集合 @東雁来公園サッカー場

11:00 試合実践 U16国体リーグ 札幌B VS 道南 主審: 丑屋 INS: 今川氏

〈自己分析〉

今回の自分のテーマである「動き出しと角度」を終始意識してポジショニングを取ることができた。また、判定基準も一貫したものであったと考えている。しかし、FK マネジメントについては、クイックを保証するのか否かなどをもっと瞬時に判断する必要があると感じた。

〈INS分析〉

走力、スプリント、動き出しなどに成長を感じられました。また、身体の向きを変える、ステップワークでポジションを修正する動きも評価に値します。課題点としてはFK マネジメントです。今後は適切なアプローチ(口頭での抑止など)を心がけてください。

札幌A VS 道央 主審: 及川 INS: 岡田氏

〈自己分析〉

17分、札幌が道央の大きなチャンスになり得る場面でファウルを犯したシーンで、注意しようとしたが全く聞く気配がなかったため選手を引き寄せることや、言葉の強さというところを意識する必要があると感じた。また、自分がプレーエリアに入ることが多々あったので、ゲーム展開の予測がより必要になると感じた。

〈INS分析〉

17分のシーンについては、パーソナリティーを発揮することができた場面であったと思います。不格好でもいいので演じて欲しい場面です。動きとポジショニングについては、常に情報を収集することが重要だと思います。しかし、これは1試合では身につくことではないので、トライ&エラーを繰り返して身に付けてください。

12:30 移動・昼食

13:15 試合振り返り

14:10 フィジカル講義「効果的なW-upと疲労回復について」 担当：岡田 氏

普段何気なく行っているウォーミングアップですが、その目的や意味についてはこれまで深くは知らなかった。ウォーミングアップで重要なことは、

- ① 体温や筋温を上昇させること
- ② 神経の伝達を促進すること（ゴムチューブなど）
- ③ 関節可動域を広くすること
- ④ 心拍数と呼吸数を徐々に増加させることである。

リカバリーについても、「心理的、生理的、神経系、肉体的」という4つのアプローチの仕方がある。時間が空くと面倒に感じて疎かになることが多いため、試合やトレーニング後すぐに始めることが重要である。

アプローチの仕方は人それぞれ異なるため、自分に合った方法を見つけることが大切である。



15:00 競技規則講義「FK時の主審のポジション」 担当：今川氏

FKのポジショニングで重要なことは様々なことを考慮し、デメリットが少ないポジションを取ることである。考慮事項は壁の人数、次の争点、ボールの軌道などさまざまである。また、ファウルが起きてから再開するまでには6ステップあり、そのステップの中で自分の次のポジショニングを考えることができれば、スムーズな再開に繋がるのではないかと学んだ。

FKのポジショニングは人によって異なる。しかし、大切なことは何を監視したくてそのポジショニングを取るかと学んだ。



16:30 諸連絡・解散

【6月23日（日）】

8:30 集合

10:00 試合実践 北海道サッカーリーグ CANALE 小樽 vs ASC 北海道

R: 岩本 A1: 高須賀 A2: 及川 4th: 丑屋 INS: 古曾部氏

〈自己分析〉

28分の警告について、守備側の状況を全く把握できていなかった。ボールが入ってからファウルが起きるまでに首を振るタイミングはあったので、ファウルを犯しそうな選手とボールホルダーの位置関係を気にしながら首を振るタイミングを失わないことが大切であると感じた。前半の残り5分のファウルの判定は、変に選手に頑張らせたくない思いから、些細な接触に吹いてしまい、それが後半の最初にも影響してしまった。

〈INS分析〉

PA周辺の監視（13分、27分など）について、KIを逃さないためのポジショニングと動きに成長が見られました。「自信」について課題が残ったのではないのでしょうか。特効薬はありませんが、経験が多くのことを解決してくれるのと、こんな時こそ原点に戻って「判定基準の一貫性の追求」だと思います。

12:00 移動・昼食

13:15 試合振り返り

今回の振り返りでは、実際に試合映像を用いてディスカッションなどを行った。特に、FK 時のポジショニングについて、前日の講義の内容に基づき、最適なポジションはどこなのかを確認した。

14:40 先輩 RAC 講義 田口平蔵氏 (2 期生) 「アカデミーを経て、成長したこと、できるようになったこと」

本講義では、2 期生であった田口氏からアカデミーでの学びの重要性について知ることができた。アカデミーを通して得られることは審判活動のみならず、社会で生きていく上でも非常に重要になることもある。特に「失敗して学ぶ」ということは、アカデミーだからこそできることである。失敗を恐れてチャレンジできていなかったり、無難にこなしてしまったりすることがあって、失敗をしても許される場だからこそチャレンジ精神がまだまだ足りていないと感じた。もっと様々なことにトライすることが「学ぶ」ために重要なことであると感じた。

15:40 諸連絡・解散

